電気の取扱い—覚えておきたい15項目

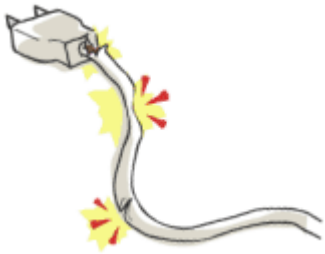
1. 水と電気は近づけない。

2. 全ての電気器具が正しく接地されてるか、そして電源プラグが接地のとれたコンセントに差し込まれているかを確認する。

3. 全ての電気器具、電気工具、電源コード、そしてコンセントの欠陥の有無を点検し、状態の良い器具だけを使う。 異常を見つけたら、すぐに上司に報告する。

4. 電気部品を取り扱う際には、絶対に貴金属や導電性のある被り物は身に付けない。

5. ゴム手袋、腕抜き、ブーツのような保護具を常に身に付ける。

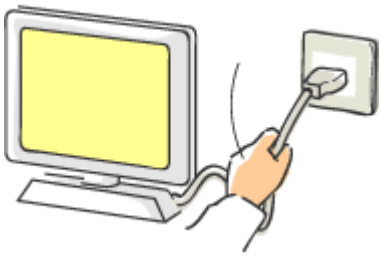


6. 非導電又は二重絶縁の工具を使用する。

7. 電源コードやケーブルは、常に清掃され、ねじれが無い状態で保管する。

8. 電気器具を運ぶ際は絶対に電源コードを持ったり、引っ張っぱらない。

9. 擦り切れや、傷みのある電源コードは、絶対に使用しない。



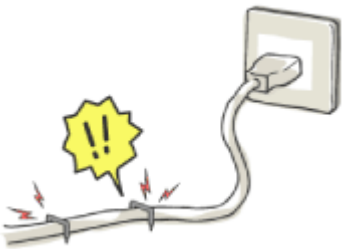
10. 引火性又は腐食性化学物質に注意し、これらの物質の付近で電気器具を使う場合には、規定の手順に従う。

11. 漏電遮断器（GFCI）付きのコンセントを使用する。

12. 通電している部分の周囲は、空間を確保する。

13. 研磨用のスチールウールや金属製掃除用布もしくは、化学薬品の溶剤のような電気を通す物質は、電源から隔離する。

14. 電気器具の修理点検中の電源遮断を確実に行うためのロックアウト・タグアウトの手順を熟知しておく。



15. 絶対に、ステープラーで電源コードを固定したり、金属ワイヤーや釘でコードをぶら下げたりしない。 電源コードの絶縁体を劣化させます。